

地域の担い手①

港北区青少年指導員協議会について

青少年指導員とは

青少年のためのよりよい地域環境をつくりあげるため、関係者や関係機関・団体との連携をもとに、率先して青少年の自主活動とその育成活動を行っているのが青少年指導員です。青少年指導員は、自治会・町内会から推薦を受け、市長が委嘱します。任期は2年で、神奈川県知事からも委嘱を受けます。



©港北区ミズキ

青少年指導員の活動について

○青少年健全育成のための交流・体験活動の提供

・ペットボトルロケット大会

ふるさと港北ふれあいまつりの一環として、毎年11月に鶴見川樽町公園にて開催しています。ロケットの飛距離を競う飛距離部門と、ロケットを自由に装飾するデザイン部門の2部門からなり、毎回500名を超える親子連れ参加者でにぎわっています。

・自然体験教室

自然と直接関わり、実体験を通して、いのちの大切さや自然の在り方を学ぶ事業。自然体験や社会体験を通して青少年の「責任感」や「社会性」を育みます。

○社会環境健全化に向けた活動

青少年を非行や深夜徘徊などから守るため、各地区で夜間パトロールやひと声かけ運動を行っています。

○研修・啓発の取組

青少年の抱える課題や、青少年との関わり方等をテーマとした研修会を実施しています。

ペットボトルロケット大会



自然体験教室

